

下田南地区振興会だより 会報 小田床

■発行第60号■

【発行責任者】

下田南地区振興会

会長 中村敬司

【連絡先】

下田南地区コミュニティセンター

42-3612

旧下田南小学校が 生まれ変わります

下田南地区振興会

会長 中村 敬司

明けましておめでとつございます。小田床の皆様、離郷者の皆様、本年もよろしくお願い致します。

今年は、小田床にとって大変うれしい事が始まります。不登校生の受け入れ施設が誕生します。

さまざまな理由で不登校になり学校に行けない子供たちがいる事はご存知だと思いますが、天草でも七〇名程の子供達がいるそうです。環境を変えた場所で学習支援を行いながら子供たちに希望が持てる自立支援が行われます。

母体は、熊本学習支援センター（代表 仙波達哉氏）で、資金面では介護施設などでお馴染みの「笑顔マーク」の日本財団が支援します。

仙波代表は、天草での開校にあたり市内の4廃校を視察されましたが、その中で私達の下田南小学校を

選ばれました。学校施設や自然環境も気に入られ海あり、山ありの環境の中でのびのびと子供達を育てたいと話されていました。

また職員も小田床で地域と一体となつて生活されます。現在、子供たちの宿舎、保護者の宿泊施設として空き家を探されています。地域の皆さん、離郷者の皆さんのご協力により空き家を提供し支援したいと思ひます。

交流人口の増加により小田床が活性化し発展する事を期待しています。皆さんのご協力と支援をお願い致します。

丸3年になりましたコロナ禍の中にあつて、不透明な状態が続いていますが、今年はインフルエンザも流行りそうです、健康に留意され、早く普段通りの帰省や遠方への往来が出来ることを願っています。



第29回 産業文化祭

（特賞は上野京子さんのミニ盆栽の菊）

11月20日（日）第29回産業文化祭を開催しました。野外ではいつもの輪投げ大会、ホールインワン大会、11時から女性運営委員さん達によるカレーライスのバザー、カラオケ大会が行われました。館内では大変立派な野菜等が並べられ、また上野和生さんの見事な菊も文化祭に華を添えていただきました。最後には若松地域づくり部会長による恒例の競売りで楽しい一日を過ごすことができました。



特 賞



こざとこナイトタウン 夕陽めがけてジャンプ



地域づくり部会長若松米雄さん創作、演出による、クリスマス・イルミネーション天草西海岸の夕陽めがけて突き進む6頭のバンドウイルカの群れが（昨年12月10日完成）元気よく泳いでおります。
（下田南地区コミュニティセンター横広場）

由美かおるさん来る！

天草八十八ヶ所霊場巡りと小田床に残る貴重な真田十八屋敷の伝承を求めて西嶋家を訪問



御朱印帳を手にする由美かおるさん

天草八十八ヶ所霊場巡り

昔、天草には八十八ヶ所霊場巡りがありました。いまから九年前に、天草に多くの人たちに来てもらおうと、天草八十八ヶ所霊場巡りが復興しました。

四国遍路には年間約二十万人のお遍路さんたちがお参りに行きますが、そのうちの一割でも天草八十八ヶ所霊場巡りに訪れると天草中の地域が活性化するとの見込みから、地域振興を目的としたお遍路さんの復興でした。

復興に際しては、曹洞宗と浄土宗と真言律宗と浄土真宗、各地域のお堂の管理者たちが協力してで

きたものです。

小田床にも、隣泉寺という霊場札所が遺っています。

真田十八屋敷の伝説

令和四年十二月九日、お母さんの実家が天草市魚貫町にある由美かおるさんが天草八十八ヶ所霊場巡りプロジェクトにモニターとして参加され、小田床の西嶋隆明さん宅を訪問されました。

小田床には、昔から真田十八屋敷の伝説があります。

かつてこの地に、真田幸村の家臣十八家族が移り住んだというものです。

しかし、それは単なる云い伝えではなく、ちゃんとした古文書が西嶋隆明さん宅に現存しています。

そこには、大坂夏の陣以降、徳川軍の追及を逃れて島津藩に潜伏し、その後天草島原の一揆前に、小田床に移り住んだ真田一族の動向が克明に記されています。

令和五年四月から天草八十八ヶ所霊場巡りの接待所の一つとして西嶋家の離れが開設し、これまで秘められていた真田十八屋敷の古文書が見れるようになります。

そのための下見として、由美かおるさんが西嶋家を訪問されたのでした。

天草の秘められた歴史を探索する貴重な場所として、また新たな名所としてこれから周知されることと期待されます。

山口 誠治



西嶋家の仏壇にお参りする由美かおるさん



西嶋さんの奥さんとツーショット

スポーツ大会

去る11月12日にナイターミニバレー大会が、12月4日に球技（グラウンドゴルフ）大会が、それぞれ行われました。どちらも、日頃プレーしている人もそうでない人も入り乱れ、大いに盛り上がりました。

ミニバレーは当日集まった人でラウンドにチーム編成をしますが、優勝間違いないと目されたチームが苦戦したり、ノーマークの新人が活躍したり、少ない人数ながら毎回ドラマが生まれます。

球技大会は、前日から降った雨でグラウンドのコンディションがいつもと違っていたかもしれないですが、珍プレー好プレーが続出。地区対抗、平均打数の地区別ランキングで順位が決まることもあって白熱した試合が展開され、今年の結果も僅差でした。技術だけではカバーできない、運も結果を左右するこの大会は、毎回ハプニングの連続でプレーヤーも周りの応援も笑いが絶えません。しかも参加率が非常に高く、主催する健康部会としては大変ありがたく思っています。

どちらの大会も、また大いに盛り上げることを期待しています。皆さん、健康にご留意の上、次回も一緒に楽しく過ごしましょう!!

石松由紀子



七日月も過ぎた翌八日の朝、おね火焼開始。年男の白石和彦さんが火入れ。勢い良く燃え上がったあー残り火で焼いた餅も格別。

その昔、「おねつぽつぽー!、おねつぽつぽー!」かけ声と共に子供達が走り回り、青竹のはじける音と相まって、山々にこだまし、何とも爽快であった。青竹のはじける音は、邪気を払うという意味があり、どんどんくべてどんどん燃やす。そこからどんと焼きという名がついた地方もあるそう。この儀式の歴史は古く、平安時代である。正月飾りを燃やすことで、鬼を追払い、歳神様（家の守り神）が、煙に乗って無事、天に帰られる様、そして五穀豊穡、家内安全を願うのであります。

字がうまくなる様に、書き初めも、燃やしましょう。

白石 宣子

鬼火焼きか?

おね火焼きか?

どんと焼きか?

仲間 死という、絶対平等の身にたてば誰でも許せるような気がします
いとおしく行き交う人にも何か温かいおもいがあふれます
写真、協会のシルバークールのお手伝をして、頃、鬼海洋一、元議の訪問、時の一コマで、す。二十年経て、元議、福田先生と私の三人のほかの皆さん、永眠されましを、目の当り、詩をして、み、味。わ。つ。て。い。ま。す。
い。い。切。一。助。し。間。床。い。す。味。詩。に。を。た。永。か。私。福。て。す。時。元。頃。を。学。ス。協。ま。し。た。
野口 眞澄



眞宗大谷派西念寺坊守、鈴木章子氏の詩をご紹介します

鬼海 洋一 中村 豊子
鬼海 五月 白木ツノ
佃 イツヨ 上野 光男
福田先生 佃 満寿子
野口 眞澄 鬼海ハツエ
(旧姓浜崎) 池田フジト
中村みさこ
白石キノエ

優秀安全運転事業所表彰

とびつく(十二月二日熊日掲載)

11月28日天草署で伝達式があり、下田運送が最高のプラチナ賞に輝いた。

自動車安全運転センター（東京）が、運転機会が多い事業所を対象に交通違反や事故件数などを審査。同社は3年連続で金賞を受賞するなど優秀な成績を収めた。

赤星正純社長は、「講習会を開いたり、朝の点呼で注意を呼びかけている。」とのこと。

私達住民も、これに倣い安全運転に努めたい。

野口 眞澄

廃品回収を終えて 地域の皆様に感謝です

明けましておめでとございます。今年もよろしくお願います。

寒かったり、暑かったりの厳しい天候が続いておりますが、地域の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

日頃より老人会活動につきましては、多大のご支援とご協力を賜りまして老人会と致しましては感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、私たち老人会では、今年度2回目の廃品回収を1月13日に実施しましたが、今回も地域の皆様方のご協力によりまして、空き缶や空きビン等を沢山回収することが出来ました。心から感謝申し上げます。

地域の皆様方におかれましては、今年も1年間健康で充実した年となりますようにご祈念申し上げお礼の言葉と致します。

令和5年1月20日

下田南妙見老人会 役員一同

下田南のデータ

83 世帯
168 人
(男 76 人・女 92 人)
高齢化率 (65 歳以上) 91 人
54.10%
(令和 4 年 12 月 28 日現在)

安定した生活環境の中、穏やかな笑顔でおめでとつと言え、令和四年の大きな社会不安を引かず、令和五年を迎えました。国民経済の低下を防ぐために行動制限が解除されたとはいえず、会情勢が混沌としている中から脱却して心からおめでとつといえる年に私たちが住む地域だけでもいたわり助け合って暮らしたい。

この度会報発行にあたり、取材にご協力いただいた地域の皆様に心から感謝したいと思えます。編集員の労をねぎらって記述をおわります。

数本 房雄

編集後記

ありがとうございます

ふるさと応援寄付金

平山 勇 様

他 5 名様

善意の寄付金

宇土 和子 様